

道の旅

大山 猛司 (犬山市)

日程：2009年3月4日～3月21日 18日間

旅程：四国 88カ所のうち

鳴門市 1番札所・霊山寺～

高知県四万十町 37番札所・岩本寺

全行程：450km (今回の全行程)

道には、街道・ハイウェイ・鉄道・航路等いろいろあるが、これらは目的地に行くための手段、道具として利用されてきたことでしょう。

しかし、近年は道を歩くこと自体が旅の目的として多くおり、私もこれまで東海自然遊歩道、熊野古道のうち高野山から熊野本宮までの小辺路等を歩き、また去年はWSC企画旅行でスペインのブルゴスからサンティアゴ・デ・コンポステーラへのキリスト教巡礼の道をバスで周ってきました。

四国 88カ所遍路

今回、長年の念願でした四国お遍路をしてきました。四国お遍路は徳島県、高知県、愛媛県、香川県にある八十八カ所のお寺を巡拝する約1,440kmの道程です。

2009年3月3日に自宅を出発し、JRジパング倶楽部の3割引切符で鶴沼駅から岐阜・大垣・米原と乗り継いで大阪駅に昼頃に着きました。大阪ではWSC例会に参加し、フィンランド、ニューヨーク、スペイン旅行で一緒になった懐かしいメンバーにお会いして旧交を温めた後、神戸三宮からバスで徳島に入りました。

鳴門 1番札所・霊山寺出発

3月4日いよいよお遍路の開始です。朝7時に鳴門市の1番札所・霊山寺(寺のことを札所と呼んでいます。)で白衣・山谷袋・金剛杖等お遍路用品を買い揃え身支度を整えました。参拝のやり方は見様見まねで、山門で一礼し、手水場で手と口を清め、鐘を1回撞き、本堂と大師堂でローソク・線香を点け、納め札を納め、賽銭を入れてから般若心経を唱える等を行ない、次の札所に向かいます。

思い起こせば昨年の4月に変形性膝関節症で歩行困難になり、膝へのヒアルロン酸注射と大腿四頭筋の強化で歩けるようになり、第1日目は膝に故障が起きないか不安な気持ちでお遍路専用の地図を片手に「へん

ろみち」の道標を頼りに順次お寺をまわり16km先の6番札所の宿坊に16時頃到着しました。



「へんろみち」の道標

宿坊では、夕食はお遍路仲間と一緒に取り、コース、宿等の情報交換と共に、宿泊を重ねるごとに懇意になり、いつしか携帯番号を交換し、お遍路の途中での状況を話し合うこととなりました。朝は6時から本堂でのお勤めに参加し、お経を唱え・説教を聴き、朝食を取ってからの出発です。

お遍路開始早々は、弘法大師の身代わりである「同行二人」の金剛杖をお寺に置き忘れ山門を出てから取りに戻ることが再三ありました。



雑飾り

イギリス人との出会いと海外旅行情報

3日目は遍路最大の難所遍路転がしの山越えです。750mの山を越え、一旦下ってから720mに位置する12番札所・焼山寺に登り参拝し、下山したところに宿があります。しかもこの日は雨で何回も滑り金剛杖に助けてもらいながらの下山でした。

お寺でイギリス人お遍路のNorth Owen君と話ことができました。彼は日本に来て2年目高松市で英語教師をしています。これまで25カ国行ったことがあり、私がスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラに行った話をすると彼もフランスから歩いてレオンを経由してサンティアゴに行っており、特に南フランスがすばらしかったので、ぜひとも行くように勧められま

した。

ご接待とお遍路さんへの慈愛のまなざし

6 日目は 22 番札所・平等寺の門前にある知人の実家にお世話になり、ご家族の皆さんの暖かいおもてなしを受けてきました。翌朝はおじいちゃんが集落の境まで同行し見送っていただきました。

8 日目・9 日目はマメで傷む足で室戸岬へ向かい、海岸に沿って空と海と照葉樹林を眺めながら 1 日に約 35 km 歩き、空海（弘法大師）が開いたお遍路を堪能していました。



おばあさんからのご接待

お遍路ではいっぱいご接待を受けてきました。自転車で追ってきたお婆さんから現金を、何か所かのお遍路休憩所ではお菓子・果物・飲み物等を、和菓子屋さんでもお茶と和菓子の接待を受けました。



休憩所でのご接待

ご接待の風習・文化は日本で、また世界で他にあるでしょうか。また、行きかう人もお遍路に対して敬愛の眼差しで受け止めてくれます。

宿泊の情報と果物

1 日歩くと汗びっしょりになります。宿では毎日衣類を洗濯します。洗濯機・乾燥機が完備しているところが多く、旅館・民宿では衣類を洗濯してくれるところもあります。宿泊料金は 1 泊 2 食 6,300 円で料理もすばらしく、有難いご接待に感謝の毎日です。

14 日目から 18 日目まで平井夫妻と一緒に歩きました。四国はミカンが豊富です。休憩で文旦・デコポン・甘夏等のミカンで疲れを癒し、お喋りしながらの楽しいお遍路でした。

土佐での旅情

16 日目の宿では、地元の方の懇親会に呼ばれ土佐流の献杯・返杯の作法を経験すると共に、鯉の一本釣り漁に生きる漁協の方の貴重なお話を伺いました。



31 番札所 竹林寺

3 月上旬梅の花の中遍路を始め、3 月中旬に江戸彼岸桜、山桜、山吹の花に迎えられ、18 日目の 3 月 21 日に高知県四万十町の 37 番札所まで約 450 km をお遍路し、一旦帰宅しました。



梅の花の中のお遍路

また、続きを楽しみに

私のお遍路は 88 番札所まで歩ききることです。お寺で般若心経を唱え無心になり、歩き遍路で多くの人に出会い、またご接待を受け、四国の自然と歴史と文化と人情に触れる道の旅はすばらしく、また機会を見つけて 38 番札所からのお遍路の続きに出かけるつもりです。